



鶉鮎つうしん

岐阜ダルクニュースレター平成31年春号(70号)

新年度を迎えて



岐阜ダルク
施設長 遠山香

嬉しいお知らせがあります。一つ目はセカンドハウスを2月に開所することができました。名前は聖書に出てくるノアの箱舟からとり、NOAH(ノア)としました。開設のためにご協力いただきありがとうございます。開設のためにご協力いただきありがとうございます。

二つ目は岐阜ダルクに繋がり、回復プログラムに取り組み続けた仲間が、4月から岐阜ダルクの職員として一緒に働くことになったことです。仲間は岐阜ダルクに繋がった当初からいつかダルクで働きたいという希望がありました。生活保護を受給しながらリハビリする生活から就労プログラムに移行。自分で働いたお金でダルクの入所費用を支払ったり、お金を貯めて、様々な地域で行われている自助グループに参加する。就労を1年続ける頃には生活保護を切り、納税者となりました。ガス・水道・電気などの光熱費のかからないダルクの生活から一人暮らしに変わり、お金をやりくりしながら生活を続けています。ダルクの職員になるには様々な経験をしてもらうことが必要でした。後に続く仲間達にその経験が役立つのです。これから仲間達の回復を共に支えていく仲間がまた一人増え、喜びでいっぱいです。

一方、ちょっとさみしいお知らせもあります。平成20年5月にNPO法人を取得し、岐阜ダルク後援会長だった由井神父様が理事長となったことから後援会長をお願いし、快く引き受けて下さった現在の岐阜ダルク後援会長の齋藤幸二先生が牧師職をリタイヤされることになりました。しかし、後援会長をルーテル教会に新しく来られた徳弘牧師先生に引き継いで下さることになり安心しました。長い間、私達スタッフや仲間達を励まし、祈り、支えて下さいました。齋藤先生との関わりがなくなるわけではありません。これからもダルクの良き理解者として頼りにしているのに変わりありません。

日曜日には様々な教会で活動紹介をさせてもらっています。たくさんの方々が岐阜ダルクのために祈ってくれることから、今まで様々な困難を乗り越え活動が続いていると言えます。私も人のために祈り、何ができるか神様の声に耳を傾け行動することを生活の中にもっともっと取り入れていきたいです。

仲間の体験談

ぼたん

私は、放火をして逮捕されました。鑑定入院をして、医療観察で2年半入院をし、退院した後3年の処遇（注）がつきました。1人暮らしになり、すぐお酒を飲み続け、それがバレてまた入院。1人ではどうにもならなくなり、施設に行く事になりました。みんなどうまくやれるか、入院生活も長く体力的にもついていけないか、色々不安もあり嫌でした。けれど、行ってみるとみんな良くしてくれました。不安は消えたけど、プログラムでミーティングをしたり運動をしたり食事を作ったり、昔から面倒くさがりで何もしたくない私は、嫌々やっていたし態度も悪く言われた事にいちいち反発をし、やらずに何度も何度も施設を出たいと言っていました。病院へ戻り、そこでもミーティングをしました。話していく中で、仲間にしてもらった事、施設でやらなかった事、もう1回やり直したいと思いついて施設へ戻ることが出来ました。私は、続ける事、受け入れる事がなかなか出来ません。今、施設に戻って来て、3ヶ月経ちます。以前施設に居た時は、昔と同じお風呂に入らない食事でも作らない化粧もしなかったけど、今は自分なりに出来ています。嫌だった運動も走っています。少しずつ周りの人達も変わったと言ってくれます。この生活が1人でも出来る様に訓練しています。時々、面倒だと思ふ事もやっています。まだやれていない事もあります。お酒がなくても楽しい事、まだまだ沢山あります。今まで気づけなかった事を、みんなのおかげで気づくことが出来ました。その事に感謝しています。時には苦しい事もあります。お酒でゴマかしたいと思ふ事もあるけど、ちょっとずつ乗り越えて行きたいです。

ありがとうございました。

（編集部注 処遇・心神喪失者等医療観察法に基づき保護観察所による精神保健観察に付されること）



ギャンブル依存症のウメチャンです。

前回の体験談後、入寮4ヶ月目以降は、苦しい時間が長く続きました。自分の欠点のため、人の悪いところばかり目につきイライラしてばかりいました。そして、人と比べ、なぜあの人ばかり仕事が与えられるんだ、スタッフは何を見ているんだとさらにイライラして、スタッフに嘯みつくようになっていきました。イライラして上手くいかないのは、自分が高学歴だからだと言いつつ、周りの人を小バカにしていると、全員敵のように感じ、ギャンブルをしていた時のように、孤立していくようになりました。何ヶ月も苦しくて、ついどうにもならなくなり、そこでまたスタッフに相談をしていくと、散々傷つけたにも関わらず、スタッフは受け入れてくれ、相談ののってくれました。

それからは相談して提案されたことをチャレンジしていきました。演劇の台本作り等、一人の力ではできず、スタッフ、仲間、演劇の先生に知恵と時間と労力を借りながら、何回も失敗し無事成功を収めました。そこで初めて、できなくても人に助けられながら生きることを学びました。孤立して一人で悩むのではなく、人と協力して生きることで、人の良いところが見え、悪いところを見てイライラすることが減りました。すると自分の良いところや幸運だと思えることも見つけられ、こんな自分でも大丈夫と前向きな気持ちで生活できる自分になりました。

最近、新しい仲間が増え、自分が仲間を受け入れる立場になりました。そこで初めて、受け入れてくれたスタッフや親の気持ちを知ることができ、仲間を受け入れながら生活することを続けています。そのおかげか、笑顔がいいと言われることが増え、信頼できる仲間が何人かできたことに本当に感謝しています。



ボランティアだより

植村 昌子 先生



料理プログラムに植村昌子先生が来てくださるようになり2年が経ちました。今年の1月で、なんと100回記念を迎えました！！そこで今回、先生にインタビューをすることにしました。

◆植村先生は最初、依存症に対するイメージはどうでしたか？

暗くて…怖い…そんなイメージでした！

◆実際に岐阜ダルクに来る前と来た後とでは、どうイメージが変わりましたか？

想像も出来ない見たこともない世界だったので慣れるのに時間はかかりましたが、今はうちの息子達と変わらないような気持ちで接することができています。

◆岐阜ダルクにボランティアに来てから毎回意識していることはありますか？

料理のことやダルクの人たちとどう接することがいいのか、毎回来るたびに復習と予習をしています。勉強することが欠かせませんが、勉強をさせてもらっているという気持ちです。岐阜ダルクの人はそれぞれに反応も違うし、一人一人に個性があった。その違いにどう対応していけばいいかこちらも考えさせられましたね。声かけを意識しながら一緒に料理をして、わたしも今は楽しんでいます。

◆最近新しい仲間も増えてきましたが、仲間と接する中で感じることはありますか？

口数の少ない人と積極的に接することができる人がいるなど私なりに感じますが、なるべく口数の少ない人に話しかけるようにしています。

◆岐阜ダルクの仲間たちと接する中でこれは良かったと思うことはありますか？

岐阜ダルクの人と接するうちに、自分の息子達への感謝の念が湧いてきました。息子からも「ダルクに行けてよかったね」と言ってもらえています。いい意味で岐阜ダルクの皆さんからエネルギーをもらえています。

◆ボランティア活動を通しての先生の目標はなんですか？

健康である限り、岐阜ダルクのボランティアに行き続けたいとは思っています。

★ 活動報告 ★

2月

- 2 薬物電話相談日 5 スノーボード
- 6 保護観察所における薬物再乱用防止プログラム・ステップアッププログラム
- 7 ルーテル岐阜教会ワーク、岐阜ダルク後援会
- 8 岐阜コミュニティカフェれんげ 9 薬物電話相談日
- 10 岐阜ダルク家族会、日本キリスト教会名東教会にて活動紹介、カトリック南山教会にて活動紹介
- 12 各務原病院にてケア会議、笠松刑務所薬物離脱指導
- 13 薬物電話相談日、各務原病院メッセー、14 ヨーガプログラム
- 15 徳島ダルクフォーラム参加 16 薬物電話相談日
- 17 カトリック港教会にて活動紹介、日本キリスト改革派岐阜加納教会にて活動紹介
- 19 笠松刑務所薬物離脱指導
- 20 再犯防止推進計画策定委員会
- 保護観察所における薬物再乱用防止プログラム・ステップアッププログラム、日本メノナイトブレザレン教団豊田東キリスト教会にて活動紹介
- 21 ~ 22 キャンプル依存症研修会参加 22 陶芸プログラム
- 23 薬物電話相談日、フラワーセラピー
- 24 岐阜ダルク家族会、カトリック池田教会にて活動紹介、日本キリスト改革派関キリスト教会にて活動紹介
- 25 レクリエーション(食べ放題) 26~27 薬物依存症研修会参加
- 28 ヨーガプログラム

各務原シティマラソンに出場



ハーフマラソンに初めて出場する仲間と一緒に走りました！仲間が楽しんで走っていてハイパーパワーを感じました。次はフルマラソンに挑戦です！(ケイコ)

名古屋ウィメンズマラソンに出場



ダルクに来て数ヶ月の頃仲間がマラソン大会に出ると聞いて私も出たいと思いました。その時は機会は与えられませんでした。4年越しでフルマラソンに出て完走することができました。感謝です！(ちさこ)

レクリエーション(食べ放題)



豚肉のじやぶじやぶをだらぶく頂きました。仲間と一緒に囲む食事は食欲が増してつい食べ過ぎちゃいます。とても美味しく楽しかったです。ごちそうさまでした。感謝！(ヨッチャン)

3月

- 2 薬物電話相談日 3 各務原シティマラソン出場
- 4 各務原病院メッセージ
- 6 笠松刑務所薬物離脱指導、保護観察所における薬物再乱用防止プログラム・ステップアッププログラム
- 7 岐阜ダルク後援会 9 薬物電話相談日、梅まつり
- 10 ナゴヤシティマラソン・ウィメンズマラソン出場、日本基督教団高蔵寺ニュータウン教会にて活動紹介、岐阜ダルク家族会
- 12 多治見保護司会来訪 13 薬物電話相談日、各務原病院メッセージ
- 14 ヨーガプログラム 14~18 福祉の森イオン各務原出店
- 15 各務原病院メッセージ(クロッカス)
- 16 薬物電話相談日、フラワーセラピー
- 18 保護観察所における薬物再乱用防止プログラム・ステップアッププログラム
- 20 陶芸プログラム
- 22 セブンスデーアドベンチスト教団名古屋キリスト教会にて活動紹介、薬物電話相談日
- 24 日本バプテスト連盟東山キリスト教会にて活動紹介、岐阜ダルク家族会
- 25 各務原病院メッセージ(クロッカス)
- 26 笠松刑務所薬物離脱指導 28 ヨーガプログラム
- 30 レクリエーション(映画鑑賞・食べ放題・ショッピング)
- 31 救世軍名古屋小隊にて活動紹介、日本キリスト教団南山教会にて活動紹介

ハートフルフェスタ2019に参加



救世軍名古屋小隊にて活動紹介



救世軍名古屋小隊の教会で活動紹介をさせていただきました。ランチを頂いた後私達の話の為多くの時間をとって下さるとても温かい雰囲気でした。こういった時間があることに心から感謝できるようになりました。ありがとうございます。(マユ)

歌が苦手な仲間も得意な仲間も一緒に練習しました。みんなベストを尽くせたかな？(まさひろ)

屋台でいっぱい食べたよー！(ぼたん)



暖かくなってきたワン！桜がきれいだワン！(ステップ)

梅まつり



4月

- 5 各務原病院メッセージ(クロッカス)
- 6 薬物電話相談日、わくわくフリーマーケット出店
- 9 カトリック善棚教会にて活動紹介・贈呈式、笠松刑務所薬物離脱指導
- 各務原病院メッセージ(ナチュラル)
- 10 薬物電話相談日、各務原病院メッセージ 11 ヨーガプログラム
- 12 岐阜コミュニティカフェれんげ 13 薬物電話相談日
- 14 日本同盟基督教団多治見中央キリスト教会にて活動紹介、津島佐織キリスト教会にて活動紹介、岐阜ダルク家族会
- 16 保護観察所における薬物再乱用防止プログラム・ステップアッププログラム、ふれあい会館にてケア会議、名古屋中央キリスト教会(婦人会)にて活動紹介
- 各務原病院にてケア会議
- 17 笠松刑務所薬物離脱指導 18 ヨーガプログラム
- 19 保護観察所における薬物再乱用防止プログラム・ステップアッププログラム、陶芸プログラム
- 20 薬物電話相談日 22 JCCA 役員会
- 23 保護観察所における薬物再乱用防止プログラム・ステップアッププログラム
- 24 岐阜ダルク後援会 25 ニュースレター発送作業

カトリック善棚教会にて贈呈式



日本下方リッジ女性団体連盟のちを守る運動があり、その中の基金の一部を岐阜ダルク女性ハウスに支援していただきました。女性ハウス開設時から応援して下さいている樹の会の皆様のご尽力によるものです。ありがとうございます。



※毎週水曜日パソコン教室があります。4月から演劇の練習をはじめました。

セカンドハウスNOAHだより

スタッフ 宮嶋慶子

皆様、こんにちは！4月から岐阜ダルクスタッフの一員として加わることとなりました、依存症のケイコです。それまでは介護の仕事と並行して岐阜ダルクの仕事をしておりましたが、介護の仕事もちゃんと退職して（過去は仕事をきちんと辞めた経験がありませんでした。）なりたかったダルクスタッフになることができ、心から喜びでいっぱいです。温かい気持ちで見守っていただけると幸いです。

さて、セカンドハウスNOAHは今年の2月に開設されました。素面での一人暮らしを経験するため第1号として私が住むことになり、セカンドハウスでの生活がスタートしたのです。回復の嬉しさを噛みしめる自分がいました。

と思いきや、早速私は病気全開となりました。築年数が古いセカンドハウスのマンションの水道は、見ると結構な汚れがこびりついていました。見た瞬間に「もう我慢できん！」。私の掃除スイッチが入りました。仕事や自助グループのミーティング…と忙しく体はヘトヘトでしたが家に帰ると水道を見るともう我慢できません。よく磨けるスポンジを手に時間を忘れて水道を磨き続けました。もう寝ないと明日の仕事が…。でもこの水道をピカピカにしたい。「もう勘弁してくださいよ」と思うのに、止めたくても止められません。元々私は自分のために早く寝るといふ行動が取れない人なので、時間があればあるほど何かをしたいのです。

そんな時、新しく買った包丁でざっくり左の人差し指を切りました。い、痛い！もう最悪だ！何をしているんだ、私は。しかし恥ずかしいことにそれをきっかけにして水道を磨く行動が止まりました。仕事にも支障が出たため、早く寝て治すほか方法がなくなりました。そこでようやくハッとさせられたのです。休む時間を与えられたんだ…。今は適度に掃除をして毎日ダルクで仕事をしています。今後何が起こるのでしょうか、セカンドハウス。



Step house だより

スタッフ 山田 興久

今年の桜は、美しい時が長かったように思いましたが、皆さんはこの春を楽しんでいらっしゃるでしょうか？Step houseの仲間たちも、毎日の運動の際に梅の花を見に行きましたし、桜の木の下でミーティングを開きもしました。葉を使っていた頃にはほとんど感じることもなかった季節の移り変わりを、シラフの今は喜びながら過ごしています。

今年になってから、何人かの仲間に変化がありました。一人暮らしを始めた仲間、就労に行き始めた仲間・復帰した仲間。新しい仲間も加わりましたし、4月には一人の仲間がスタッフになりました。それぞれがシラフ（注）の生き方で、チャレンジをしています。

しかし、Step houseのプログラム自体に変わりはありません。毎日毎日、ミーティング・運動・自助グループのミーティングをベースに、仲間と共に過ごします。平成から令和へと時代が変わります。だからと言って、皆さんの毎日に特別な変化がある訳ではないでしょう。しかし、時間が経つうちに、何かが以前とは違うように感じる時がくるのではないのでしょうか？仲間の回復も同様です。ある日突然見違えるように変わるわけではありません。プログラムを続けるうちに、以前とは違う自分へと気づく時がやってきます。

今年のゴールデンウィークは10連休。例年にも増して楽しい時間を過ごす皆さんも多いでしょう。そんな時にもStep houseの仲間たちは休みなくプログラムを実践しています。令和になっても、変わらずに仲間たちを支えてください。

（編集部注 シラフ・断薬を維持している状態のこと）



女性ハウスだより

女性ハウス責任者 勇陽子

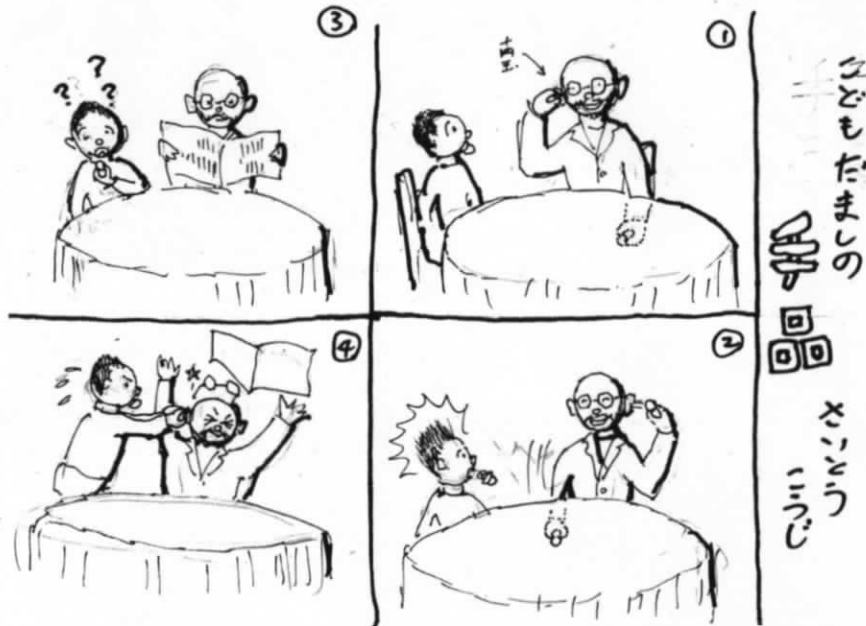
皆さんこんにちは。寒い季節も変わり桜の花がそこら中で満開になっていました。仲間と花見に行き、今年は花がきれいだなと少し思いました。毎年、桜の花を見ても「桜か…」とそこまで感動もなく心が壊れたと思ったり、自分は花に対して根本的に興味がない人間かとも思いました。けれども、今年は静かな公園で桜を見ていたら空の色とほんわかした桜の花が本当に美しいと思いました。

女性ハウスは、現在6名の入所と1名の通所の仲間とプログラムをやっています。みんな自分の問題に向き合ってはうんざりし、苦しんだり、逃げたくなったり、涙したり毎日取り組んでいます。そういう女性の仲間たちと過ごせることがうれしいです。

このような活動が出来るのも支えてくださっている方のおかげです。先日、ある教会の皆様の祈りを聞いている中でダルクの事やまだ苦しんでいる人達のことを祈ってくださいました。それを聞いていると胸がいっぱいになりました。本当にいつもありがとうございます。これからもどうか私たちの活動を支えてください。よろしくお祈りします。



感謝の内に



（まんが執筆 斎藤幸二）

ご支援・ご協力をいただき心から御礼申し上げます

献金者名(平成31年1月15日～4月9日)敬称略

粕谷靖彦 学校法人・名古屋学院 カトリック五反城教会 カトリック岐阜教会 光栄英生 西戸一孝 大竹幸子 公益財団法人・名古屋YWCA 勇昭代 カトリック岐阜教会女性部 武藤晏子 弁護士法人神谷法律事務所・代表社員・神谷慎一 カトリック江南教会 村松みよ子 カトリック豊橋教会 藤本弘 田口大輔 小田泉 ハシモトヒロシ 角平聖一 島田香 服部信子 中西東峰 日置芳史 (宗)明寂寺・藤江功 斎藤栄治 可児福音教会 山下民男 小川眞理子 北谷雅春 岐阜キリスト教会 (宗)カトリック神宮修道会・多治見教会 木下容子 河合潔 平川玲子 不破達生 鎌田憲子 伊藤晴吉 有安洋子 清水隆 瑞陵中学校 戸崎正文 堀尾佳広 弁護士・伊藤知恵子 岐阜県立わかあゆ学園 伊藤直美 カトリック岡崎教会 カトリック小牧教会 吉田豊子 加藤洋子 出井武史 カトリック膳棚教会女性会 青井初恵 川口清子 太田綾子 福島春美 松本豊 服部正博 加藤敏男 日本聖公会中部教区愛岐伝道区 西堀扶美子 澤田透 柴崎章子 カトリック布池教会ともしびグループ 多治見保護区保護司会 金森タイ 深田逸子 村上和子 岩田恭子 日本キリスト改革派多治見教会の皆様 日本バプテスト教会連盟緑キリスト教会の皆様 日本キリスト教団名古屋中央教会の皆様 カトリック瀬戸教会の皆様 北方キリスト教会の皆様 日本キリスト教会名東教会の皆様 カトリック南山教会の皆様 カトリック港教会の皆様 日本キリスト改革派岐阜加納教会の皆様 日本メノナイト・ブレザレン教団豊田東キリスト教会の皆様 カトリック布池教会の皆様 日本キリスト改革派関キリスト教会の皆様 日本キリスト教団高蔵寺ニュータウン教会の皆様 セブンスデー・アドベンチスト教団名古屋キリスト教会の皆様 日本バプテスト連盟東山キリスト教会の皆様 救世軍名古屋小隊の皆様 日本キリスト教団南山教会の皆様 養清興業株式会社 ムラマツヒロユキ 岡田千歳 カトリック名古屋教区カリタス福祉委員会 木村暢男・薫子 池田清・玲子 日本カトリック女性団体連盟 吉田加代子 中道美保子 鷺見時男 匿名者多数(総額 876730 円のご寄付をいただきました。ありがとうございました)

献品者名(平成31年1月15日～4月9日)敬称略

檜田邦自動車株式会社 本村健一 古藤みづ子 木下修・容子 林友香 木下製網株式会社 西堀扶美子 昭和染工場・森誠一 日本キリスト教会名東教会 深津伸夫 匿名者多数

※お名前記載につきましては注意を払っておりますが、万が一お名前の誤字・脱字または記載漏れなどございましたら、誠に申し訳ありませんが、ダルクまでご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

※発送作業簡略化のため皆様全員に返信用紙を同封させていただいておりますことをご了承下さい。また匿名希望の方は、恐れいますが、その旨を振り込み用紙通信欄にその都度ご記入下さいますようお願い致します。

※岐阜ダルクでは施設の地代家賃、水道光熱費、専任スタッフの人件費等、毎月一定の固定費がかかる一方、「中間施設」の性格上、きわめて財務基盤が不安定で、皆様方のご寄付が欠かせません。引き続きご理解とお力添えをお願い申し上げます。

岐阜ダルク 郵便振替口座 00840-5-167752 岐阜ダルク後援会

※仲間の余暇時間を有意義にするためのツールとして、洋服・パッチワークなどの手芸用品・道具が必要です。ありましたら、献品のご協力をいただければ幸いです (Step house TEL058-201-3555)

※バザーや地域のフリーマーケットへの参加を定期的に行っていきます。

ご家庭で眠っている新品のタオルや家庭用品や衣類などがありましたら献品のご協力をお願い申し上げます。たくさんありましたらダルクから近郊の方でしたら取りに伺わせていただきますのでご連絡下さい。(058-201-3555)

編集 特定非営利活動法人 岐阜ダルク
編集担当 岐阜ダルク後援会 齋藤幸二 鈴木暉一郎
〒500-8175 岐阜市長住町7-3 TEL/FAX: 058-251-6922
Email: gifudarc2004@yahoo.co.jp
ホームページ: <http://www.gifu-darc.org/>
ダルク日記『今日もぐるぐる』: <http://darcblog.sblo.jp/>
2017年 岐阜ダルクニュースレター平成31年春号 (No.70)
定価 1部 200円
編集責任者 遠山 香
発行所 東海身体障害者団体定期刊行物協会
名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター

